

## 北上でダンスの祭典開催！

### ALL THAT DANCE TOHOKU 2018

「ALL THAT DANCE TOHOKU 2018」(同実行委員会主催)は9月22日～24日の3日間、市内各会場で開催されました。北上市地域おこし協力隊の市川明伯さんが中心となって開催された同イベント。おでんせプラザぐろーぶでの「駅前ダンスフェスタ」を皮切りに、連日各会場で多彩なプログラムが行われました。

23日にさくらホールで行われた「メインショーケース」では、県内外で活躍するダンサーなどが公演。迫力満点のダンスや踊りで、来場者を魅了しました。

「メインショーケース」でダンスを披露する子どもたち



芸能団体の発表や販売されたいものこ汁などを楽しむ来場者

## 地域の味と芸能楽しんで

### 第17回二子の里いものこまつり

第17回二子の里いものこまつり(二子町振興協議会主催)は9月30日、二子小学校で開催されました。会場では二子地区の芸能団体によるステージ発表や、黒沢尻工業高等学校の生徒による科学体験ブースなど、多彩なプログラムを実施。また、同地区特産の二子さといもやいものこ汁が販売され、訪れた人たちが郷土芸能と旬の味を楽しみました。いものこ汁を食べた及川悠くん(二子小6年)は「二子さといもは粘り気があっておいしい」と満足そうに話していました。

## 地域の伝統産業を知ろう！

### 養蚕体験イベント

養蚕体験イベント((株)更木ふるさと興社主催)は9月23日、同社で開催されました。このイベントは、かつて更木地区で盛んに行われていた養蚕業の復活を目的とした「モスラ復活プロジェクト」の一環。今回は、養蚕に欠かせない桑の葉や蚕に関する理解を広めようといわれました。参加した35人は、蚕への餌やりや繭細工の作製を体験。阿部閏奏くん(黒沢尻東小3年)は「初めて蚕に触った。ぷにぷにしてやわらかい」と興味深そうに観察していました。

飼育されている蚕を間近で見学する参加者



「夏油高原アウトドアフェス」でスケートボードを体験する子

## 紅葉と芸能を満喫

### 夏油高原紅葉まつり

夏油高原紅葉まつり(同実行委員会主催)は6日～21日の土・日曜日と祝日、夏油高原スキー場などで開催されました。期間中は、鬼剣舞などの芸能公演のほか、手作りの品が並ぶ「夏油てしごと市」、さまざまなスポーツを体験できる「夏油高原アウトドアフェス」などを実施。来場者は鮮やかな紅葉と多彩なイベントを楽しみました。アウトドアフェスでスケートボードを初体験した東山泰士くん(岩手大学付属小2年)は「怖かったけどおもしろかった」と話していました。

## ワールドカップを盛り上げ ラグビーW杯2019™ 開幕1年前イベント

ラグビーワールドカップ2019™日本大会開幕1年前イベント(同大会釜石開催実行委員会ほか主催)は9月29日、江釣子ショッピングセンター・パルで開催されました。開幕を来年に控えた同大会の機運を盛り上げようといわれた同イベント。会場にはラグビー体験や各出場チームの紹介ブースが設置されました。

また、岩手・釜石ラグビー応援隊の志田友美さんと女子ラグビー選手によるトークショーも行われ、来場者に大会やラグビーの魅力をPRしました。



ボールパスを演習する日本体育大学の後藤選手(右)と上村選手(左)



「黒沢尻工業高等学校を訪れ、民族舞踊」を披露する生徒たち

## 高校生が異文化交流 ニュージーランドの高校生が市を訪問

ニュージーランド・クライストカレッジ高校ラグビー部の生徒20人は1～4日の4日間、市を訪れました。同訪問は、ラグビーワールドカップ2019™の開催を契機にしたラグビー交流などを目的に県が主催したもの。生徒たちは市内の高等学校を訪れ、授業の見学やラグビーの合同練習で各校の生徒と交流しました。

このほか、2日・3日の両日は市内世帯でホームステイを実施。一般家庭での宿泊を通して日本の文化を体験しました。

## 初出場＆初受賞！

### 2校の吹奏楽部が全国規模の大会で活躍

北上北中学校と上野中学校の両吹奏楽部は、全日本吹奏楽コンクールの東北大会を突破し、全国規模の大会に出場しました。北上北中学校は13日に行われた第18回東日本学校吹奏楽大会に初出場。和太鼓などを用いた力強い演奏を披露し、銅賞を獲得しました。また、上野中学校は20日に行われた第66回全日本吹奏楽コンクール全国大会に出場。息の合った勇壮な音色を響かせ、県勢初の金賞に輝きました。部員一丸となり力を磨いてきた2校が全国の舞台で活躍しました。



全国大会出場前に市長と教育長を訪問し、決意を新たにしている両校の生徒



資料 30年間の節目ごとに展示された写真や

## 北上市の「平成」を振り返る 収蔵資料展「鬼踊る！北上と平成」

収蔵資料展「鬼踊る！北上と平成」は16日～21日の間、中央図書館で開催されました。来年5月に元号が改められることに伴い、平成30年間の市の出来事を振り返ろうと企画された同展。同館などに収蔵されている写真や資料が展示されました。また、20日には、30年間で記録された映像の上映会を開催。来場者は市の歴史に思いをはせていました。高橋文彦さん(75歳・常盤台)は「28年のいわて国体が印象深い。選手も応援もすばらしかった」と話していました。